公共交通普及中規模都市

大津市中心市街地及び比叡山周遊の活性化を目指した 大津市版 MaaS推進事業（滋賀県　大津市）

【大津市、京阪バス、日本ユニシス】

◆地域の課題

- 道路交通渋滞や交通事故の発生
- 路線バスを始めとした公共交通の減便・廃止が進行
- 高齢者をはじめとする地域住民や観光客への対応

☑ 複数移動手段活用時の利便性
☑ 公共交通・道路の混雑
☑ ラストマイルの移動手段不足
☑ 高齢者等の移動弱者の増加

METI「新しいモビリティサービスの活性化に向けて」より引用

◆将来構想の概要

- 中心市街地における住民向けMaaSと比叡山における観光客向けMaaSを推進
- マイカーから公共交通への利用転換、快適な観光客周遊
- 地域の商業施設や宿泊施設等との連携を見据えた新たな交通システムの導入

◆実証実験の概要

- 地域事業者のサービス（自動運転シャトルバス、既存交通、買物、観光、飲食）を組み合わせ、MaaSアプリ等を通じて提供
- サービス利用者、地域事業者のニーズを確認し、事業運営主体者の運営実現可能性を検証

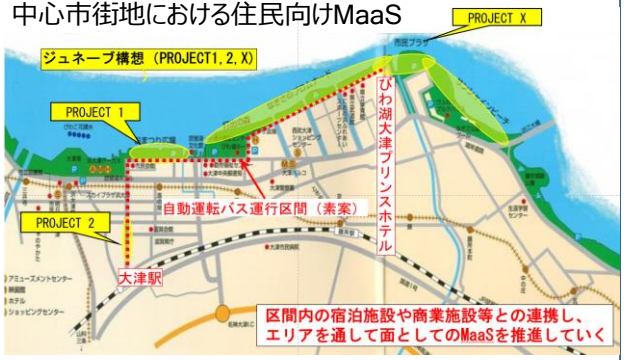
☐ カーシェア
☑ デマンド交通
☐ マルチモーダルサービス
☑ 自動走行車の活用
☐ 貨客混載
☐ ラストマイル配送無人化
☑ 移動サービスと周辺サービスの連携

METI「『IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会』中間整理」より引用

◆対象地域

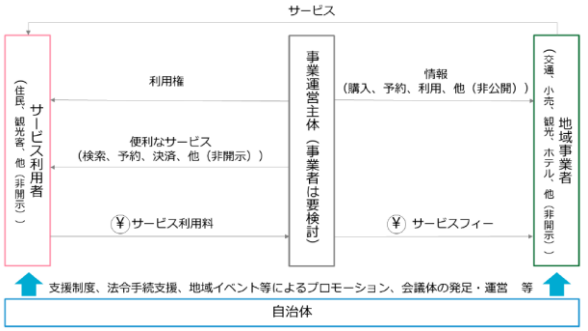
- 実証実験は大津市で実施。中心市街地にて住民向けMaaSを、坂本地区比叡山周辺で観光客向けMaaSを推進予定。
- 横展開する地域を市外に広げ、2022年中に本格導入を目指す

中心市街地における住民向けMaaS



◆サービスモデル

- 事業運営主体が、交通、小売、観光、ホテル等の地域事業者のサービスを組み合わせ、単体サービスよりも付加価値を持ったサービスを、MaaSアプリ等を通じて提供する



NRI Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.